

同友ごてんぼ速報版

広報委員会

<第312回>2月支部例会

『障害者雇用で企業が変わる』 ～障害者雇用の必要性と求められる社会的責任～

【講師】 正垣 昌彦氏 株式会社 サイゼリヤ 顧問



<講師:正垣 昌彦氏>



<例会中の様子>

2月9日(水) 第312回 同友会御殿場支部2月例会が、エピ・スクエアにて開催され、講師に正垣 昌彦氏(株式会社 サイゼリヤ顧問 チャレンジド雇用管理本部代表)をお招きし、講演していただきました。

正垣さんは、弟さんが創業したサイゼリヤの営業に参画し平成4年・61歳まで現場の業務に従事し定年退職。その後、常任顧問として再就職し、障害者雇用管理本部を設置、代表に就任。平成19年度時点で、チャレンジド(障害者)は126名。1店舗1名の雇用を目指し、平成16年に法定雇用率を達成し、平成20年度は20名を採用。

障害者を雇用するにあたり、なぜ、何のために雇用するのか?また、雇用してみても初めてわかること、今まで気づかなかったことに気づく、障害者が及ぼす影響、社員の变化、お店の雰囲気の変化等々。。。今まであまり身近に考えていなかった事をいろいろと教えていただきました。

今日参加された会員の皆さんは、これから先少なからず生活の中で意識していくと思います。障害者雇用は、簡単なことではありません。すぐに自社で雇用を考えなくてはと思うのではなく、この講演を境に障害者に対する正しい認識と理解を持ち、仕事そして日常生活を送ることが大切ではないでしょうか?

非常に繊細で難しいテーマの講演だったと思いますが、今までにない気づきの例会になりました。